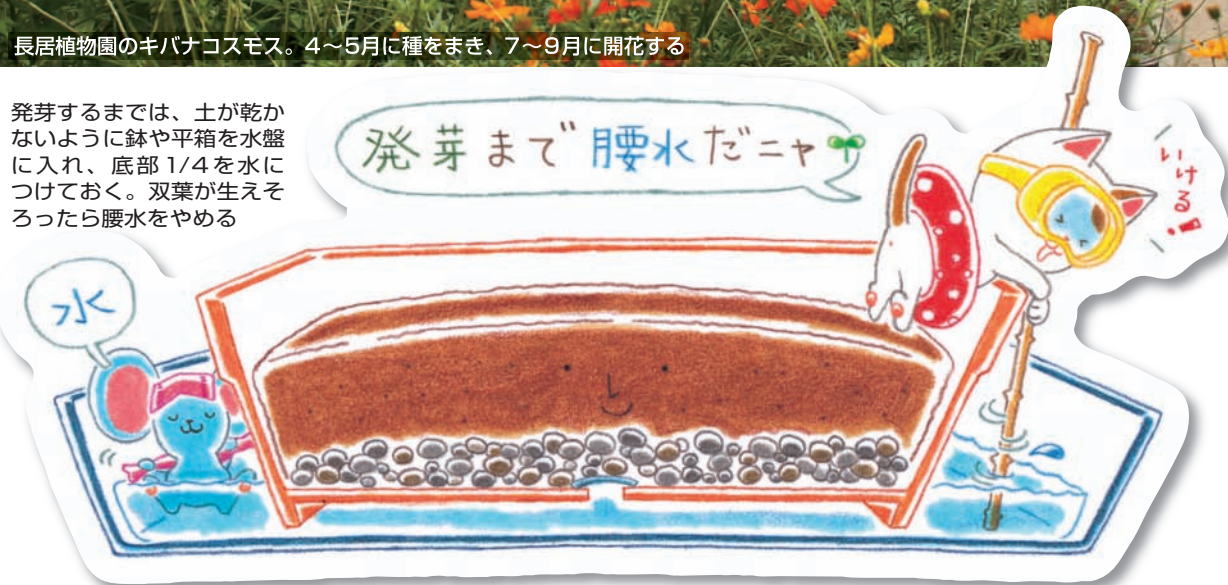




長居植物園のキバナコスモス。4～5月に種をまき、7～9月に開花する

発芽するまでは、土が乾かないように鉢や平箱を水盤に入れ、底部1/4を水につけておく。双葉が生えそろうたら腰水をやめる



4月の花情報

長居植物園では、ハナミズキ、ポタン、桜が見頃を迎えます。

平鉢か育苗箱に用土を入れて平らにならし、ばらまき、かすじまき、する。

種のまき方



板などで2~3cm間隔の溝をつけて、その溝に種をまき、軽く覆土する。
※やや大きい種に適する

- **【用土】** 大きい種や移植を嫌うもの以外は苗床にまき、移植して育てます。用土選びのポイントとは
 - 通気性と水持ちが良いもの
 - 肥料を含まないもの
 - 粒子の大きさが種子に合うもの
 - 病原菌や雑草の種子がなく清潔なもの
- 市販の種まき用か、赤玉土(小粒)5・バーミキュライト3・ピートモス2に配合して使います。
- **【発芽後の手入れ】** 芽が出て双葉が開いたら、朝夕の穏やかな日光に当てます。土の表面が乾けば、たっぷり水やりを。苗が倒れないように注意して水を与えます。
- **【植え替え】** 適期は、双葉が開ききった頃か、本葉が1~2枚の頃。赤玉土5・腐葉土かピートモス3・パーライト2の配合土に、1本ずつ1~3cm間隔に植え替えます。元肥は入れず、根付いたら液肥を与えます。植え替え後2~3日は日陰に置き、その後日光に当てます。コツは、
 - 曇った風のない日に行う
 - 根についた土をなるべく落とさない
 - 根を乾かさないうちに素早く行う
- 双葉までの茎の1/3が土に入る程度に植える



春まき草花の多くは熱帯、亜熱帯生まれ。寒さに弱く、生育には暖かさが必要です。種まきの適期は3~5月。ソメイヨシノが葉桜になる頃が良いでしょう。

種から育てる